

## 事例紹介3

# 御南西公民館・御南中学校の取組

## 学校（生徒）と地域（公民館）が

## 「WIN-WIN」の関係に！

### ねらい・目的

#### ■公民館のねらい

中学生の公民館デビュー促進の取組として、地域のミドルリーダーを育成することで、持続可能な地域の教育力の向上を図り、地域住民がさらに出会い、つながり、学び合い、活躍する公民館にしたい。

#### ■学校のねらい

学校の教育活動に加え、「家庭」「地域社会」「事業者」「公民館」との連携・協働を通して、学校では行えない更なる体験場面を得ることで、学校が目指す生徒像に迫る人づくりを進めたい。 ※

※ 御南中学校が目指す生徒像

・・・様々な体験を通して、共に認め合い、高め合う生徒の育成

中学生を公民館（地域・事業所）のボランティア活動にデビュー（参画）できる支援を

公民館主催事業「小学生に遊び場を提供するプログラム」等の企画・準備・運営

ボランティア応募者の決定が **抽選** になるほどの人気に！

企画がポイント！

学校以外の場面で、地域の方々と活動し、成功と失敗の両方を体験できるような場を通して、生徒が成長し、必要とされる。

中学生ボランティアが、ただ「参加」するのではなく、企画段階から参加する「参画」のスタイルで関わる。

中学生ボランティアに小学生が憧れ、小学生ボランティアに園児が憧れるような流れができれば。

公民館の主催講座のボランティア募集に当たっては、公民館職員で動画を作成し、給食時間に放送している。

活動内容が公民館の事業や地域の行事のため、保護者が安心する。



持続可能な活動にするポイントは、学校（生徒）と地域がWIN-WINになること。

地域協働学校になったことで、地域の方々が学校に入ってきてやすくなり、学校への理解が広がった。

学校運営協議会で地域の方にボランティアの活動報告をした。

中学生ボランティアが、活動を紹介した掲示物を学校と公民館それぞれに掲示した。

生徒が学校では体験できない「学び」や「気づき」を得、中学生ボランティアが地域から必要とされ、中学生の自尊感情が育まれる。

「自尊感情」「達成感」「居場所」「自己実現のためのボランティア活動への意欲」を得る

ボランティア活動を行った生徒が将来、「地域の良いリーダー」となることを期待！

#### ■今後に向けて

- ・生徒が「こういう活動をしてみたい」という内容を事前調査し、公民館の活動計画に反映させることができれば。

#### ■社会教育委員の意見

- ・中学生ボランティアが参加するだけでなく、企画から参加する「参画」を意識していることが良い。
- ・ボランティアが義務的ではなく、自己実現のためのボランティアを達成している。
- ・学力で測れない人間力（非認知能力）が育っていると思う。

## 事例紹介4

# 高島公民館・高島小学校の取組

## 小学校の理科の授業と公民館の防災講座を連動

社会のつながりの中で学ぶ = 地域全体で子どもたちの学びや成長を支える

### 学校

### 公民館

#### 目的

「社会に開かれた教育課程」の実現・充実

社会教育の観点から地域課題の解決やSDGsの達成に取り組む

#### メリット



#### 学校の学びを実生活につなげる

「理科×防災」は、児童が教科で学習したことを生かす活動が設定しやすい。学習したことを生活の中で生かすことは、学習内容をより定着させるだけでなく、活用する力の育成にもつながる。実践的な防災対応能力の育成

子どもから大人までの多様な世代がつどい、地域住民同士が学び合うことで、地域の防災意識が高まる。地域を知ることによって地域に愛着が持てる。地域住民にとっては、子どもへ伝える機会になる。児童が教科で学習した後は興味を引きやすい。先生からの声かけが、内発的動機づけに！

防災講座「災害想像ゲームDIG（水害編）」は、高島小学校区の白地図に、参加者同士が話し合いながらペンやシールを使って、町の基本情報（道路、川、避難所等）や地域の人の情報などを書き込んでいく。この講座で、自分たちの住む地域の①特性を理解する②起こり得る災害をイメージしやすくなる。災害をより具体的なものとしてとらえることを狙いとしている。

#### 自分の命は自分で守る！



#### 【参加者からの声】

- あぶないところがあった。逃げる場所がわかった。あぶなくないところがあった。
- 地図を使って避難経路をたどってみたり、避難できそうな場所など、災害時に役立つ場所を記入してみたのは、今後に生かせそうな活動でした。
- 子ども中心に防災について具体的に考える事ができて良かったと思います。
- 子どもたちが積極的に参加して良かった。子ども自身の気づきにつながったと思う。

#### ■小学校の先生からのコメント

事前に公民館が手配したハザードマップを配付した時の子どもたちの反応がすごかったですね。自分が住んでいるところのことは結び付きやすく、まさに実生活に引き寄せられた瞬間でした。

#### ■社会教育委員の意見

- ・「学んだことが生活の中で生きている」ことを子どもたちが実感できる素晴らしい取組。自分の地域でも実施してもらいたい。
- ・公民館は公民館、小学校は小学校、というような取組の方法ではなくて、これらを掛け算することにより、子どもたちの学びの深まりという点で非常に効果的になると思う。
- ・継続性を持たせることが重要。地域協働学校の学校運営協議会で議題にし、「チーム」で取り組むと良いのではないかと。

理科「変わり続ける大地」を学習した後は…  
公民館の講座に参加しよう！

## 6年対象 災害想像ゲーム Disaster Imagination Game

大学生と一緒に  
やります！  
高島の  
災害リスクを  
探る！

2020.11/7(土) 13:30~15:30

会場：岡山市立高島公民館 岡山市中区国府市場99-5  
◎主催・調整役 岡山大学「被災地支援団体おがやまバトン」  
◎定員 高島小学校6年生 25人程度

★災害想像ゲーム(DIG)とは…  
大きな地図を囲み、話し合いながらペンやシールを使って、避難所、病院、危険な場所などを書き込んでいきます。その中で自分や家族が住む地域に起こるかもしれない災害を、具体的なものとしてとらえることを行います。

★講座終了後には…  
できあがった地図をもとにPR動画を作って校内放送で流すかも？！

お問い合わせ先 岡山市立高島公民館 ☎086-275-1341



# 公民館と学校園の連携のヒント

■ **公民館運営委員会**や**学校運営協議会**等の場を活用して、地域（公民館）と学校園の連携について定期的に**話し合う**

事例2・3

地域と学校園（子ども）が**WIN-WIN**の関係になるように

個人に依存しない持続可能なしくみづくりを目指す

■ 地域で育て欲しい**子ども像**を、地域で共有する

事例1・2・3・4

あいさつをする子、思いやりのある子、元気な子、家族を大切にする子、郷土愛を持つ子…等

■ 子どもにやりたいことを**聞いたり**、「こういうことをしてみたい」と**相談**することから始めてみる

事例1・2・3

まずは**できること**から

■ 子どもが行事・活動に参加するだけでなく、**参画**する

事例2・3・4

子どもたちが企画段階からかかわることで**主体性**が育まれる

お兄さん・お姉さんの活動する姿に**憧れ**を抱けるような機会をつくる

■ 行事・活動において**異なる年代**の子ども・若者がふれ合える場をつくる

事例1・2・3・4

地域の人と活動することで、新しい一面の発見や、成長が期待できる

■ 子どもの活動を**みんなで喜び**、「地域の役に立っている」ことを子どもに実感させる

事例2・3・4

次世代の**地域の担い手**の育成につながる

岡山市教育委員会事務局 生涯学習部  
生涯学習課 公民館振興室ホームページ QRコード



岡山市立の各公民館のホームページにつながっています

【お問い合わせ】

岡山市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習課 支援・育成係 TEL ☎:086-803-1606